

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校3年 / 本科・SEC選択者	Subject Area / Class 教科 / 科目	地理歴史科 / 世界史B	Class hours 時間数	6時間 / 週
----------------------------------	------------------	---------------------------------	--------------	--------------------	---------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	近世から近代へ	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『改訂版 詳説 世界史B』山川出版 『学習ノート 世界史B (下)』山川出版
------------------------------	---------	-------------------------------------	---

Unit Description 単元の概要	16～18世紀の欧米史（主権国家体制の確立、絶対主義、ヨーロッパ諸国のアジア進出、市民革命） 18～19世紀のアジア史（オスマン帝国支配の動揺と西アジア、アジア地域の植民地化）
---------------------------	---

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	A3	B3	C3	A3	B3	C3
好	A2 各時代の出来事について、その背景・原因・意義を理解することができる。	B2 歴史的事象を政治・経済・社会・文化などの観点から比較することができる。	C2 各時代の問題点に対して、仮説・推論をすることができる。	A2 各地域・各時代の出来事について、その背景・原因・意義を理解することができる。	B2 西欧諸国と東欧諸国の相違について考察し、各国の歴史・特性を比較しながら理解する。	C2 西洋文明の導入と近代化の過程について、日本と他のアジア諸国の歴史を相互に比較し、それぞれの課題について考察する。
知	A1 各時代の出来事、歴史用語を理解することができる。	B1 歴史における因果関係を体系的に説明することができる。	C1 各時代の問題を発見することができる。	A1 各地域・各時代の出来事、歴史用語を理解することができる。	B1 主権国家とその成立過程、主権国家体制の確立について理解する。	C1 西洋諸国の進出によりアジア諸国はどのように変貌したか、経済面だけでなく、政治・社会・文化面においても理解を深める。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> <ICT>
--------------	-----------------

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校3年 / 本科・SEC選択者	Subject Area / Class 教科 / 科目	地理歴史科 / 世界史B	Class hours 時間数	6時間 / 週
----------------------------------	------------------	---------------------------------	--------------	--------------------	---------

1学期 期末試験 Term 1 Final

Name of Unit, Project 単元名	18～19世紀の欧米史	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『改訂版 詳説 世界史B』 山川出版 『学習ノート 世界史B (下)』 山川出版
------------------------------	-------------	-------------------------------------	---

Unit Description 単元の概要	市民革命、ウィーン体制の成立、ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生、南北アメリカの発展 帝国主義、世界分割、列強の対立
---------------------------	---

Class Standards 評価規準

楽	A3	B3	C3
好	A2 各時代の出来事について、その背景・原因・意義を理解することができる。	B2 歴史的事象を政治・経済・社会・文化などの観点から比較することができる。	C2 各時代の問題点に対して、仮説・推論をすることができる。
知	A1 各時代の出来事、歴史用語を理解することができる。	B1 歴史における因果関係を体系的に説明することができる。	C1 各時代の問題を発見することができる。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking

Learning Objectives 学習内容

A3	B3	C3
A2 各地域・各時代の出来事について、その背景・原因・意義を理解することができる。	B2 アメリカ独立革命、フランス革命、ラテンアメリカ諸国の独立、それぞれが起こった背景には何があったか、また互いにどのような影響を与えたのか、関連付けて理解する。	C2 20世紀初頭の工業化の進展に伴う国家・社会の変化を理解し、帝国主義時代の世界の動向と社会の特質について考察する。
A1 各地域・各時代の出来事、歴史用語を理解することができる。	B1 欧米諸国の経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解する。	C1 独立後のアメリカ合衆国の特色を、奴隷制や人種・民族問題を含めて理解し、現代的諸課題についても考察する。

Others
備考 <評価方法>
<ICT>

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校3年 / 本科・SEC選択者	Subject Area / Class 教科 / 科目	地理歴史科 / 世界史B	Class hours 時間数	6時間 / 週
----------------------------------	------------------	---------------------------------	--------------	--------------------	---------

2学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	二つの世界大戦	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『改訂版 詳説 世界史B』 山川出版 『学習ノート 世界史B (下)』 山川出版
------------------------------	---------	-------------------------------------	---

Unit Description 単元の概要	第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、アジア・アフリカの民族運動 世界恐慌とファシズム諸国の侵略、第二次世界大戦
---------------------------	---

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	A3	B3	C3	A3	B3	C3
好	A2 各時代の出来事について、その背景・原因・意義を理解することができる。	B2 歴史的事象を政治・経済・社会・文化などの観点から比較することができる。	C2 各時代の問題点に対して、仮説・推論をすることができる。	A2 各地域・各時代の出来事について、その背景・原因・意義を理解することができる。	B2 日本については、開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察する。	C2 科学技術の発達や生産力の発展を背景とした地球規模での世界の一体化と相互依存の強まりについて理解し、人類が直面する課題を考察する。
知	A1 各時代の出来事、歴史用語を理解することができる。	B1 歴史における因果関係を体系的に説明することができる。	C1 各時代の問題を発見することができる。	A1 各地域・各時代の出来事、歴史用語を理解することができる。	B1 戦間期の世界では、アメリカ合衆国の国際的影響力が急速に増し、その大量生産・大量消費の生活様式が他の資本主義諸国に波及し、欧米諸国や日本において大衆社会が出現したことを理解する。	C1 これからの世界と日本について、「国際対立と国際協調」という観点で類推する。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> <ICT>
--------------	-----------------

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校3年 / 本科・SEC選択者	Subject Area / Class 教科 / 科目	地理歴史科 / 世界史B	Class hours 時間数	6時間 / 週
----------------------------------	------------------	---------------------------------	--------------	--------------------	---------

2学期 期末試験 Term 2 Final

Name of Unit, Project 単元名	戦後史	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『改訂版 詳説 世界史B』 山川出版 『学習ノート 世界史B (下)』 山川出版
------------------------------	-----	-------------------------------------	---

Unit Description 単元の概要	戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立、米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り、石油危機と世界経済の再編、社会主義世界の変容とグローバリゼーション、 途上国の民主化と独裁政権の動揺、地域紛争の激化と深刻化する貧困、現代文明の諸相
---------------------------	--

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	A3	B3	C3	A3	B3	C3
好	A2 各時代の出来事について、その背景・原因・意義を理解することができる。	B2 歴史的事象を政治・経済・社会・文化などの観点から比較することができる。	C2 各時代の問題点に対して、仮説・推論をすることができる。	A2 各地域・各時代の出来事について、その背景・原因・意義を理解することができる。	B2 米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察する。	C2 戦争を防止し、平和で民主的な世界を実現させるためには何が必要か、これまで学んできたことを踏まえて自分の意見を主張することができる。
知	A1 各時代の出来事、歴史用語を理解することができる。	B1 歴史における因果関係を体系的に説明することができる。	C1 各時代の問題を発見することができる。	A1 各地域・各時代の出来事、歴史用語を理解することができる。	B1 各地域・各時代の出来事、人物について、映像資料を通じて学ぶことで、視覚的にイメージすることができる。	C1 市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解し、1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について考察する。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> <ICT>
--------------	-----------------

